平成 25 年度「使える英語プロジェクト事業」公開授業及び研究協議会の報告書

市 町 村 名 枚方市 実践研究校名 樟葉北小学校

【公開授業】公開日:平成25年10月30日

対象学年:第5学年

(教材・教科書名)(本時の指導の目標)Hi, friends! 1自分の作った夢の時間割についての表現やたずね方に慣れ親しむとともに、友達の時間割を聞くことにより新しいWhat do you study?一面に気付く。

(本時の授業において工夫した点)

- 児童が「英語は楽しいものだ」という印象を持てるように、失敗を恐れないことや、歌にダンスを取り入れることなどで、継続的に工夫をして取り組んできた。
- コミュニケーションをとる上で、その言葉の裏側にある「意味」や「思い」をつなげられるような授業の展開を心掛けた。どうすれば「思い」を入れて相手に伝えられるのかということを大切にしてきた。

(授業後を終えた教員の感想)

- 指導者の雰囲気作りが効果的で児童全体を引っ張っていた。
- 「夢の時間割」という設定が良かった。児童の思いが伝わり、選んだ理由もしっかりと 表現できていた。
- 「夢の時間割」が将来の夢と繋がっていく内容が良かった。
- 自分を知ってもらいたいという気持ちが伝わっていた。
- ゲームを盛り上げるために、児童達が工夫をしていた。

【研究協議会】

(テーマ)

- 児童のグループ活動がどのくらい効果があるか | 大阪教育大学 教授
- 伝えようとする気持ちがあるか
- 指導者の発問(日本語・英語)は適切か。また、 それに対する児童の反応はどうか

(指導・助言者)

大阪教育大学 教授 加賀田 哲也 氏

(研究協議会で出された意見)

- テンポがよく児童も慣れている。
- T1、T2の役割分担や、2人の英語と日本語のバランスも良かった。
- 児童も積極的に参加していた。

(まとめ)

- 1. 外国語活動では、児童がより多くの言語活動をする必要があるが、今日の授業ではそれがしっかりとできていた。
- 2. 児童が自分の将来を見据え、誠実に課題に取り組む姿があった。
- 3. 担任、JTEが一体となって授業を進められていた。